

十勝南モデル地域圏域検討会 交通関係ワーキングチーム

(2)これまでの取組経緯

十勝南地域の交通課題

地域内交通の維持困難？

- ・自動車への依存度が高い
- ・人口減少に伴う利用者減少（路線バス・タクシー）
- ・自治体の財政負担増加の可能性

地域の交通サービス縮小の懸念

生活交通の維持が困難

自治体の取組

【帯広市、幕別町、中札内村、更別村】
各自治体によるコミュニティバス・
乗合タクシー事業による地域の足の確保



地域課題の共有

十勝南モデル地域圏域検討会
(H29.11.22、H30.10.2)

H30.5.8
十勝南モデル地域 全体WT

H30.8.8
十勝南モデル地域 交通関係WT

H30.10.9
十勝南モデル地域圏域検討会

地域の関係者による議論

WTの整理

- ワーキングとして、まずは、
- ・交通データの見える化と、
 - ・関係者間での共有を図る！

今後の展望

広尾線を例とした高規格道路利用による利便性向上に向けた検討は、地域主導の協議会を活用

【北海道】 北海道十勝MaaS実証実験の実施（R1～）

- 利便性が高くストレスのない移動の実現を目指し、観光と生活両面におけるMaaSを展開。
- ・R1：観光客等向け情報
- ・R2：地域住民向け情報

【民間バス会社】 観光客向け乗り放題バス「ビジットカチバス」 （H29～）

- 【対象】十勝に観光で訪れた方々
- 【内容】お得な価格で楽しむことができる便利な乗り放題バスを販売。

全道展開検討

観光利用・生活路線の利便性向上に関する取組

地域の関係者による議論

地域交通の利便性向上に向けた検討【広尾線を例】

R5.1.31、
R3.3.17、R2.2.18、
R1.12.20、H31.1.31
十勝南モデル地域交通WT

改正地域公共交通活性化再生法
施行(R2.11.27) 等

【内閣府・国土交通省】 道の駅「コスモール大樹」 を拠点とした 自動運転サービス実証実験 （R1）

- ・「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの社会実装。

各機関
による取組

